

佐伯地区医師会

発達障害の症状

最近、話題になっている発達障害は以下に大別されます。①周囲の状況を理解し自分以外の人とつながっていく力の基本になる社会性コミュニケーションの発達が弱い自閉症スペクトラム(ASD) ②注意力や行動をコントロールするための発達が弱い注意欠陥多動性障害(ADHD) ③読み、書き、計算、推論などの新しい知識を身につけるための学習能力が弱い学習障害(LD)です。

具体的な症状としては、ASDの人たちはコミュニケーションが苦手、空気が読めない、こだわりが強い、感覚(音やにおい)への過敏、などがあります。

ADHDの人は集中力に欠け、我慢が難しく衝動的、じっとしていることが難しくいつも動いてしまう、片付けや整理が苦手、忘れ物が多い、などの症状があります。LDはいくら頑張っても

きれいに字が書けない、漢字が覚えられない、計算が苦手、音読が苦手、不器用などが、学習が始まってから顕著になってきます。

発達障害の人たちの困難は、障害と認識されるよりもわがまま、しつがえ、努力していないなどの誤解を受けていることが多く、本人だけでなく、家族も苦しい思いをしていることが多くあります。周囲に障害による困難として理解してもらうことだけでよい方向に向くことも少なくありません。ですから、心配があればまずは専門医に受診し、困難を周囲の人たちに理解してもらい、支援を受ける必要性があるかを相談してみましょう。

河村小児科
河村理英子